


# 区政Now！（平成29年3月号）

## ～平成29年度予算特集号～

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

発行：荒川区

11450411	 <p>この度、平成29年度予算案がまとまりました。この予算案は、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向け、子育て環境の整備、介護予防の充実、防災まちづくりの推進など区民の皆様の安全安心のさらなる向上をはじめ、地域の経済や文化の活性化などに、限られた財源を重点的かつ効果的に配分したものです。</p> <p>今後とも、子どもから高齢者まで笑顔あふれる、活力ある地域社会を築いていくため、行政サービスの一層のレベルアップに努めてまいります。社会情勢の変化を踏まえつつ、寸分も揺らぐことのない強い信念を持って、着実に歩みを進めてまいりますので、御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
主な事業	<p>平成29年度の一般会計予算案の総額は約951億円であり、「くらし・子育て・安心予算」と位置付けています。</p> <p>先日発行の区報（3月1日号）において主要事業の一部を掲載しましたが、ご紹介しきれなかった事業を中心にご紹介いたします。</p> <p>.....</p> <p style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">健やかな成長のために</p> <p><b><u>新たな荒川方式の奨学金で保育士を強力にサポート（1,690万円）</u></b></p> <p>保育士を目指す方の夢を後押しすると同時に、荒川区にとって有為な人材を確保するために、保育士奨学金制度を創設します。保育士養成施設の入学手続きに必要な入学金等を50万円を上限に貸し付けし、卒業後、区内の私立保育園等で5年間継続して勤務することを条件に、返済を免除します。</p> <p>区内の私立保育園等で勤務する保育士に対し、採用後5年間の奨学金の返済を毎年20万円まで補助します。さらに、ひとり親家庭等の場合には、補助額を30万円に拡大します。</p> <p><b><u>区立児童相談所設置に向けた取組の推進（2,938万円）</u></b></p> <p>児童福祉法が改正され、これまで都道府県や政令指定市、中核市のみが設置できるとされていた児童相談所を、特別区でも設置できるようになりました。これに伴い、区では平成32年度の区立児童相談所開設を目指し、準備を進めています。</p> <p>29年度は、施設の基本設計を行うほか、専門人材の確保・育成に加え、地域や関係機関及び東京都との連携体制を確保していきます。</p> <p style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">いつまでも住み慣れたまちで</p> <p><b><u>高齢者住宅改修助成の拡充（3,526万円）</u></b></p> <p>在宅生活での利便性を向上させ、より長く住み慣れた地域で暮らしていただくため、要介護（支援）認定者の在宅生活の利便性の向上を図るために必要な住宅改修費用を助成し、転倒リスクや負担を軽減します。</p> <p>さらに、要介護等認定申請がなくても、少額な手すり等を取り付ける場合の費用を助成し、自立した高齢者の方が転倒等によって要介護状態となるリスクの軽減を図ります。</p>

## 障がい者グループホーム等施設整備費補助制度の創設（４，３４１万円）

区内に居住する障がい者の地域生活を支援するために、障がい者グループホーム等を新設する民間事業者に対し、設置に係る費用の一部を補助します。

障がい者施設の建設・運営に関する国・都の補助金が薄いため、区では国・都に先がけて補助金を創設するものです。

補助制度の創設により、民間事業者による障がい者グループホーム等の設置の促進が期待されます。また、障がい者グループホーム等を設置・運営する法人の財政的負担を軽減して、施設の安定した運営を実現することで、障がい者の地域生活の場を増やし、障がい者が自分にあった暮らしを続けられるようにします。

## 宿泊型産後ケアの実施（１，６１３万円）

初めての出産で産後に家族等からの援助が受けられない生後４か月までの母子を対象に、区内の医療機関等において３泊４日を限度とする宿泊型産後ケアを実施します。

助産師等から育児指導を受けることで、育児に対する不安の軽減につながり、児童虐待の未然防止が期待されます。

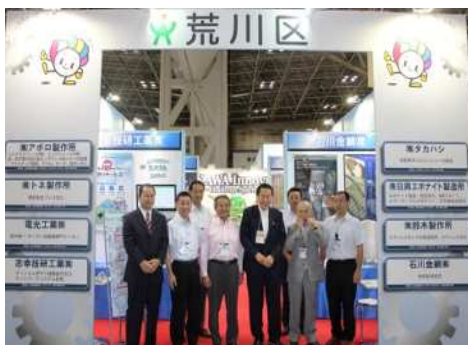
## 胃の内視鏡検診導入等によるがん検診の充実（３億８１０万円）

内視鏡による検診を導入し、胃がん検診の精度を向上させるとともに、乳がん検診の機器を最新の機種に更新することで受診者の負担を軽減し、女性が受診しやすいような環境を整備します。

がん検診を充実させることで、受診率の向上を図るとともに、精密検診対象者の未受診フォローを強化し、がんによる早世を減らします。

地域経済の発展と雇用促進のために

## 製造事業者等の販路開拓支援の強化（１，６５０万円）



専門展示会に出展

国内外から受発注を求めて多数の企業が来場する日本最大級の専門展示会への出展を拡充し、より多くの製造事業者とともに共同出展することで、製造事業者の企業間取引（B to B）における販路開拓を支援します。

また、「荒川区産業展」を消費者ニーズの把握や自社ブランディングの機会とするために、消費者向け製品の展示・販売（B to C）の場として見直し、開催会場を日暮里駅前に変更するなどして、より多くの方に足を運んでいただける展示会を目指します。

## 区内企業の人材確保支援の充実（６７０万円）

区内におけるモノづくり企業などの若手後継人材等の確保を図るため、人材確保コーディネーターがハローワーク等と連携し、人材の採用に向けて支援を行います。

求人票の作成支援やアドバイス、企業見学会や就職面接会の企画など、募集から人材採用・定着に至るまで一貫したコンサルティングを行います。

## 子育て女性のキャリアアップ講座の充実（５０４万円）

「子育て女性のキャリアアップ講座」の実施回数を拡大することで、働くことを希望する子育て女性に、より多くの受講機会を提供します。

ひとり親家庭など再就職に困難を抱える方などの幅広いニーズに応えることで、早期再就職を支援します。



キャリアアップ講座の様子